

# 標準施工要領書

マ ッ ハ コ ン  
(3kg)

**ヤブ原産業株式会社**

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546

TEL 048 (297) 4111 (代)

## 1. 特長

- 水を加えて袋のまま混練できるプレミックスタイプ
- 道具を使用せず、手で施工可能（保護手袋必要）
- 充填後、10分で歩行、20分で車両通行可能な速硬化性（23℃）
- 強度は通常のコンクリートの4倍（28日後）
- コンクリート近似色で施工跡が目立ちにくい

## 2. 下地について

- 床のコンクリート、モルタルの欠損が対象です。
- 塵埃、土砂等の汚れは、清掃、水洗いしてください。

## 3. 工程表（本製品 3 kg で、約35cm×35cmで1cmの深さの凹みを埋められます）

工程	材料名	調合	使用量 (kg)	施工器具
処地	清掃・水洗い	—	—	ブラシ類 水
・混練 塗布	マツハコン	100	3	計量カップ 保護手袋
	水	12	0.36	

備考) 使用量は原液換算とする。

## 4. 施工方法

### 4-1 下地処理

- 施工箇所の塵埃、土砂等をほうき、ブラシ等で取り除き、清掃します。
- 水でよく洗浄し、汚れを落とします。汚れが残っていると、浮き、剥がれの原因となります。
- 本製品施工時は、下地は多少湿っている状態としてください。下地との接着をよくするためと、急激な乾燥防止のためです。

### 4-2 混練

- ハサミ、カッターを用い、袋上部を切ります。その中に付属の計量カップで水360ccを計り、投入します。
- 計量カップは100ccなので、一度に計量できません。100cc 3回と60cc1回に分けて計量し、注ぎ入れてください。
- 袋の上部をしっかりとねじり、中身が漏れないように持ち、1～2分間もみこむように混練します。袋の角部分に水がいきわたるようにしっかりと混練します。

- 小分けにして使う場合は本製品100に対して水12の比率（重量比）で混練してください。  
混練する容器、道具は、プラスチック製を使用してください（アルミ製は不可）。

#### 4 - 3 充填・塗布

- 混練した材料を施工箇所に袋から直接出し、保護手袋を装着した手や園芸用スコップ等を用いて押し込むように充填します。保護手袋は、水や薬品の浸透しないものをご使用ください。
- 保護手袋をした手で表面をならしたり、適度にたたくことで平らにします。金コテやヘラ等も使用できます。
- 施工後10～20分で歩行、20～60分で車両通行が可能です（気温10～23℃、施工時の気温により、硬化時間は変化します）。

### 5. 施工上の注意

- 既調合品なので水以外は加えないでください。
- 水は規定量を守ってください（全量3kgに対し、水0.36kg、小分けする時は製品100に対し、水12の割合（重量比）です。
- 本製品は硬化が速いので、混練から充填まで素早く行ってください。また、容器や道具を使用した場合は使用後すぐに水で洗ってください。
- 硬化時間は気温により変化しますので、ご注意ください。夏（30℃）は、混練後3～5分程度で硬化します。冬（10℃）は、45～50分程度となります。5℃以下では90分以上となります。
- 混練した材料を放置しておくと発熱しますので、ご注意ください。施工面や余った材料にしばらく手を触れないでください。
- 手で施工する場合は、必ずゴム製等の水等が浸みこまない保護手袋を着用してください。材料はアルカリ性が強いので、肌荒れ、炎症のおそれがあります。
- 作業時に粉体を吸い込まないようにしてください。眼に入らないようにしてください。必要に応じて保護マスク、保護メガネを着用してください。
- 内容物や容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。

### 6. 荷姿

材 料 名	入 目
マツハコン	3 k g 袋入り